

おーじとしずくとたなっちの あの町この村ぶらり旅

Vol.17 上富田町特集



上富田町、
ココだよ！

スポーツが繋いでいく、心の絆。

「豊かです！水も、緑も、人情も！」がキャッチフレーズの上富田町は、和歌山県の南西部に位置し、東・北は田辺市、西・南は白浜町に隣接、中央部を富田川が流れています。古くから水陸交通の要衝で、中辺路街道と大辺路街道の分岐点、熊野詣の玄関口「口熊野」として栄えてきました。現在も、熊野へ通じる出発点であり、南紀の中核都市田辺市、観光の拠点白浜に隣接、空港にもほど近い地理的条件を活かした交通整備が進められています。

恵まれた気象条件の中、水稲、梅、みかんを中心とした農業も盛ん。また、神社、仏閣や熊野古道をはじめとする歴史的資源や優れた自然環境に恵まれています。特に近年は地域スポーツ、観光スポーツの振興に傾注。スポーツ施設も整備され、日本陸連公認コースとして認定された「紀州口熊野マラソン」が毎年開催されます。



上富田町への アクセス

■車の場合

阪和自動車道
松原JCT→南紀田辺I.C.
↓国道42号線(約2時間10分)

上富田町内は走りやすい広い道路ばかり。住宅地が多いので、人の往来は多め。車でお越しの際は歩行者に気をつけるのじやぞ。

■電車の場合

JR新大阪駅(東海道本線・阪和線 特急) ↓
JR田辺駅(紀勢本線) ↓
JR朝来駅(約2時間20分)



受け継がれる 岡の獅子舞。

毎年11月下旬に八上神社で行われる「岡の獅子舞」は「獅子舞田楽」とも呼ばれており、稚児(女児)おぼなち奉納、幣の舞、剣の舞などの舞が奉納されます。時代の移り変わりとともに少しずつ形を変え、町民の手によって大切に伝えられてきた伝統芸能は、和歌山県無形文化財に指定されています。



大輪の花開く、 大賀ハス。



田中神社横の大賀ハス田では、毎年7・8月の期間、大賀ハスが開花します。7月初旬に見頃を迎え、大賀ハスに関する俳句を応募したり、フォトコンテストなどが開かれ、多くの観光客で賑わいます。

おかゆで「うっ？」 伝統行事。



生馬地区にある地主神社では、毎年1月5日に「かゆひ」が行われます。1年の農作物の出来や景気をかゆで占うもので、「みかん」「米」「景気」などと書かれた竹筒に入ったかゆの量で、豊作の上・中・下を占います。この地区で数百年続いている神事です。

町内を循環する、 コミュニティバス。



4つの系統で町内を循環している「くちまのコミュニティバス」が便利。乗り降りしやすい低い乗降口(車いす用スロープ板付き)の、バリアフリーバスです。
大人200円(中学生以下、小人100円)、地元住民はもちろん、観光客でも気軽に利用できます。

富田川で 楽しむ魚釣り。



和歌山県南部を流れる富田川は、上流にダムがないことから、アユ漁シーズンは多くの釣り愛好家が訪れます。アユのほかにもアマゴやモクスガニなどが捕れるそう。遊漁料などについて詳しくは「富田川漁業協同組合」にお問い合わせを。

富田川友遊フェスティバル



毎年8月最終土曜日に彦五郎公園で行われる「富田川友遊フェスティバル」では、よさこい踊りや大道芸人によるパフォーマンスなど、イベントが盛りだくさん。終盤には、富田川河川敷で約200発の打ち上げ花火がフェスティバルのラストを盛りあげます。



「いよいよ夏休み最後の思い出を」がテーマのお祭りよ、夜店や茶がゆ早食い競争など、楽しいイベントがいっぱい！



上富田スポーツセンター Sports center in Kamironda



平成7年に完成した上富田スポーツセンターは、16ヘクタールという広大な敷地の中にあらゆるスポーツ施設が完備されています。きれいに整備・管理された芝がさわさわと風に揺れる心地良いグラウンドは、サッカーやラグビーができる天然芝の球技場が2面、人工芝の球技場が1面。そしてフットサルができる人工芝の屋内イベント広場とテニスコート4面には、夜間照明付きです。また、県下屈指の野球場では、阪神タイガースをホームチームとした、日本プロ野球のファーム(2軍)リーグのひとつである「ウェスタンリーグ」の公式試合が行われ、同時に、こども対象に野球教室が開かれます。

サッカーグラウンドでは、柏レイソルがキャンプに訪れたり、セレッソ大阪の選手たちによるサッカー教室が開かれています。いすれもこどもたちがプロ選手のプレーを間近で見て、教わることでできる絶好の機会。ただきれいな施設というだけでなく、地域のスポーツ振興のために、Seacaや熊野高校などが積極的に施設を活用することで、こどもたちがのびのびとスポーツを楽しむことができる環境が整えられているのでしょね。



2008年上富田町勢要覧から抜粋



天然芝グラウンド



広くて、本当にキレイな施設ねえ。全力で走り回りたくなっちゃうわ。



人工芝グラウンド



紀州口熊野マラソン

Kisyu kuchikumano marathon



毎年2月上旬に開催される上富田町の「大い」イベント「紀州口熊野マラソン」。和歌山県内最大の規模で、フルマラソンとハーフマラソンは日本陸上競技連盟に公認されており、毎年全国各地から多くの参加者が訪れます。その数、約6000名とのこと。高低差が少ない走りやすいコースと、自然が多く景色も良いという理由が人気のひとつ。種目は全6種類あり、フルとハーフをはじめ、年齢別に2・3・5キロメートルのコースとして体力に自信がない方でも気軽に参加できる、ウォーキングの部もあります。老若男女問わず、家族全員で参加できる工夫がなされています。私たちが上富田町を訪れた1月中旬、大会に向けてトレーニングを行うランナーもチラホラ見かけました。

口熊野マラソンの最大の魅力、それは「人と人が出会う場」でもあるということ。地域の人が「スポーツの町」として高い意識を持っているからこそ、町内唯一の高校である熊野高校の生徒をはじめ、毎年町内外問わず約700名を超えるボランティアの方が、スタッフとして大会を支えます。

「沿道の声援に励まされて走りきた」「また上富田町で走りた」という、ランナーのリーダーも多いそうよ！参加者が年々増えているのも納得ね！



名産は ひょうたん



招福、長寿のシンボルとして親しまれるひょうたんは上富田町の名産品。
稲葉根王子近くにある深見橋は、通称「ひょうたん橋」と呼ばれ、色々な大きなや形のひょうたんを展示するスペースもあります。

か み と ん だ



上富田町の「口熊野ラーメン」は、豚骨ベースの醤油味が基本の和歌山ラーメンに鶏ガラを加えて、豚骨の匂いを抑えたバランスの良いあっさり味が特徴。連日大盛況です。
ほかにも、金山寺みそラーメンや魚介ベースのスープがクセになるつけめんも。



飲み干す一杯！
口熊野ラーメン

一瀬王子
江戸初期に不明になっ
ていましたが、紀州藩が
調査し寛文6年(1666
年)に再興され、明治40
年(1906年)春日神
社に合祀されました。



上富田町を通る、熊野古道。



八上王子跡
西行法師の歌で広く知
られる八上王子は、建仁
元年(1201年)の「熊
野御幸記」に「ヤカミ王
子」とあり、古くから崇
敬されていました。



稲葉根王子
熊野九十九王子の中
でも、格別の高い准五体王
子で、特別に崇敬されて
いました。別名稲荷王
子と呼ばれ、稲荷信仰に
深い関係を持っています。



上富田町を
まるまる楽しめる
魅力を紹介するわ！

郵便橋
その昔、富田川のこの地点で、
郵便物を乗せた川渡しを県営
で行っていた由来から、橋がで
きたときに「郵便橋」と命名さ
れました。「郵便橋」という名
前の橋は、日本にはひとつしか
ないそうです。



オンリーワンとナンバーワン！



だるま寺(興禪寺)
興禪寺の白いだるま座像は、昭
和48年に建立され「日本一の大
だるま」として親しまれていま
す。ほかにも、興禪寺は多くの
町指定文化財を有しており、回
遊式の庭園では四季折々の花
が美しく咲き誇ります。

めくるめく至高のスイーツ



上富田町にはス
イーツ店が多いんですよ。
その中でも「口熊野の
醇ロール」なる魅力的
なスイーツに感激！
紀州うめたまごを使用し
たしっとり系のス
ポンジ、ミルクの濃厚な
クリーム…激うま！
違うお店だと「好きで
す」上富田になる
洋風もっちりせんべい
…いわれるしつとり
系クッキーもあります。
気軽に食べ歩きで
さちやう。

かわらけで
厄除け祈～願ッ!!!



約1300年の歴史
を持つ開運・厄除の靈
場「救世院」すぐそばに
観音は、山帯が大きな
一枚岩に覆われていま
す。たなうち
も「かわらけ
投げ」で厄除
け祈願。かわ
らけを山頂か
ら思いっきり
投げ、厄や病
気を祓うんだ
そう。

